

題材名「甘いことばにご用心」

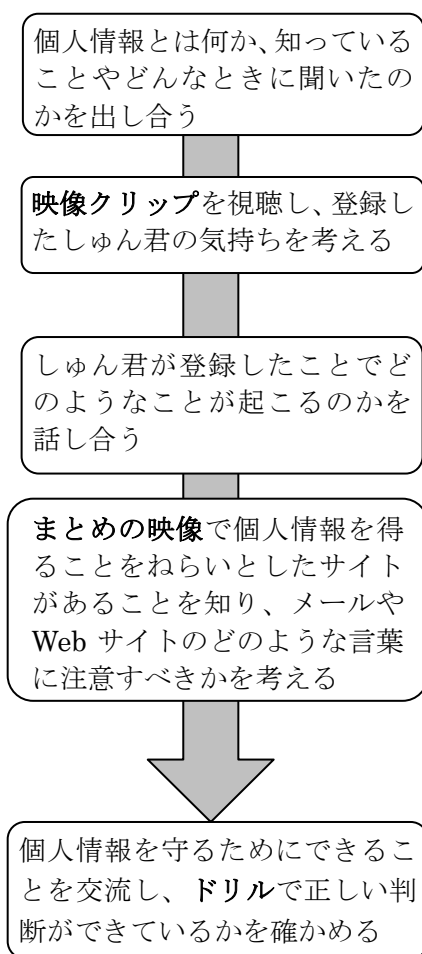
■ 目標

- ・Web サイトの中には、個人情報を奪う目的があるものがあることを知り、自分の個人情報を守るためにどう対応すればよいかを考えることができる。
- ・学習したことをこれからの生活に生かそうとする。

■ コンピュータを活用する利点

「事例で学ぶ Net モラル」の映像クリップを活用することにより、家庭においてもコンピュータを利用する機会が多くなってきている子どもたちにとって、身近な事象としてわかりやすくとらえることができると考えられる。また、映像を通して問題点をクラスのみinnで共有できるので課題意識を高めることにつながると思われる。

■ 授業の流れ



■ ICT 活用場面

コンピュータを活用して総合的な学習や理科の時間などで調べ学習をしたり、学習成果をプレゼンテーションにまとめたりしたことのある子どもたちではあるが、調べるときにゲーム的な要素を含んだサイトにアクセスして楽しんでいる姿をよく見かける。そこで、甘い言葉で登録を促し個人情報を目的とするサイトがあることを、「Net で学ぶ情報モラル」の映像クリップをクラス全体で視聴することにより、場面を共有できるようにした。

しゅん君がとった行動に対して、どのような問題が起こりうると思われるのか、甘い言葉に引かれて安易に送信（登録）したために個人情報が思わぬところで利用されることにつながる怖さをまとめの映像クリップで確認した。さらに、正しい判断ができているか、ドリルを活用してまとめとした。

■ 成果と課題

「ゲームの攻略法を教えます」「プレゼントがあります」「登録無料です」といった内容は、子どもたちの中でも話がうますぎるからあやしいという声が出ていた。プロジェクタを通して大きくして見た動画は状況をとらえやすく、集中して見ることができた。しゅん君が名前、住所、電話番号を入力して送信した場面では、まずいなという表情で見ている姿も見られた。ドリルで5つの問いを考える際も、正しい判断ができるようにしっかり取り組めた。



個人情報をを守るために、インターネットや携帯電話を利用するときは慎重に行動しなければならないことや、一人で判断せずに家の人に相談することを子どもたち自身も考えていた。コンピュータには、多くの便利な面と使い方によっては危険なものになってしまうマイナスの面があることを今後の学習につなげていくことが課題である。

■ ICT 活用環境等

使用周辺機器	デスクトップパソコン1台、プロジェクタ
使用ソフト名	事例で学ぶ Net モラル
使用教室	理科室